

7月は「愛の血液助け合い運動」1月間

安全な血液の安定確保のため、

献血に協力ください

◎問い合わせ 日本赤十字社宮崎県支部

都城市地区事務局（福祉課内） ☎23-2980

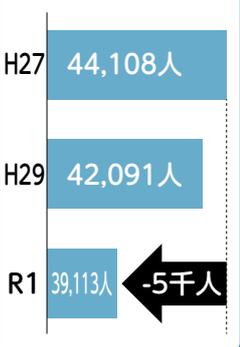
献血は身近なボランティア

病気治療や手術などで輸血を必要としている人に、健康な人の血液を提供することで、命をつなぐ献血。国内では、1日当たり約3千人が輸血を受けているといわれています。血液は、人工的に造ることや長期保存ができません。このため、日本赤十字社が中心となって、血液提供のボランティアとも言える「献血」を、皆さんに呼び掛けています。

若い世代への呼び掛け

献血をする人は年々減少。このため、これから社会を支える若い世代への普及啓発に力を入れています。

県内の献血者数推移



新型コロナウイルス感染防止も万全

仮に緊急事態宣言が発令されたときも、輸血医療に使用する血液を確保するため、献血への協力は不要。不急の外出には当たりません。また、献血会場は、安全対策を徹底して、安心して献血できる衛生環境をつくっています。

献血に協力ください

献血は、常設会場の献血ルーム（カリノ宮崎・宮崎市橋通東四丁目8-1）のほか、県内を巡回する献血バスで実施しています。ぜひ、協力ください。



献血バスの運行スケジュール

日時や会場などは、宮崎県赤十字血液センターのホームページで確認ください。



宮崎県赤十字血液センター ☎0985-5011800

7月28日は世界肝炎デー

肝炎ウイルス検診を受けて、

早期発見・早期治療

◎問い合わせ 健康課 ☎23-2765

世界保健機関（WHO）は、世界的なウイルス性肝炎のまん延防止と、感染者への差別や偏見の解消に加え、感染予防の推進を目的に、7月28日を世界肝炎デーと定めています。

肝硬変や肝がんにつながる「肝炎」

肝炎は、肝臓に炎症が起こり、肝細胞が破壊される病気です。その原因は、ウイルス性のものが大半を占め、B型・C型肝炎ウイルスの患者や感染者は、300万人以上と推計されていて、国内最大の感染症といわれています。

肝臓は「沈黙の臓器」といわれています。肝炎ウイルスに感染していても、熱や痛みなどの症状はほとんどなく、気付かないうちに肝硬変や肝がんに行進します。

ウイルスから身を守ろう

感染予防のために、他人の血液に触れないようにしましょう。

なお、握手やくしゃみのほか、食器や箸、風呂、トイレの共用で感染することはありません。

早期発見・治療のために定期的に検診を受けましょう！

肝炎の早期発見・治療のためには、定期的な検査が有効です。また、肝炎ウイルスに感染しても、早期治療で重症化を防ぐことができます。

市では、節目年齢に到達する人を対象に無料検診を実施しています。今年度の対象者には、クーポン券（黄色のがき）を5月末に送付しています。

●対象 40・45・50・55・60・65・70歳に到達する人で、今までに肝炎ウイルス検診を受けたことのない人

●検診場所 市・三股町内の指定医療機関（クーポン券に記載）

●内容 血液検査

●利用期限 令和3年2月28日

●注意 受診の際は、必ずクーポン券を持参ください。紛失した場合は再発行します

